



2016年6月号

かものうりんだより

◇白鳥 隆司 賀茂農林事務所長から一言

1年余りの間、現場を歩かせていただき、あらためて、地域資源の豊かさを実感しています。



全国屈指の観光地であるこの地域の高い認知度をいかに農林業の振興に結び付けていくかが重要な課題であると強く感じております。カーネーション等の花き、柑橘等、特色のある作物の更なる付加価値の向上、生産拡大とともに新たな需要創出を支援してまいります。

また、森林の割合が8割を超える当地域の地域材の生産拡大と雇用の確保に努めていきます。

今後も、生産者の皆様に寄り添い、子供たちが憧れる農林業を目指し、地域の発展に取り組んでまいります。
担当：総務課(0558-24-2075)

◇「治山パトロール」

6月1日から8日まで、梅雨期の集中豪雨による山地災害に備えて「治山パトロール」を実施しました。

今年度は、約50箇所の治山施設の点検と、周囲の森林を調査するとともに、地域の方から異常出水の有無等を聞き取りました。点検した施設のうち、修繕を要するものは補修などの対応を行います。

施設の異常や荒れた沢などの危険が感じられる場所がありましたら、お住まいの市役所・町役場や賀茂農林事務所治山課までご連絡ください。



担当：治山課(0558-24-2084)

WELLかも！「あじさい祭り開催中」

毎年6月、下田公園では敷地を埋め尽くす壮大なあじさいを見ることが出来ます。

一括りにあじさいと言っても、「ウズアジサイ」、「アナベル」など100種類以上と多種多様で、300万輪が咲誇る光景は訪れた人に感動を与えます。

6月の梅雨時、遊歩道の鮮やかなあじさい群生に癒やされてみてはいかがでしょうか？



◇「石部の灯り」 ～棚田を彩るキャンドル～

平成24年度に、「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」の知事顕彰を受けた、松崎町の「石部赤根田村百笑の里」で、5月21日、22日の2日間にわたり、1,500本のキャンドルで棚田をライトアップする「石部の灯り」イベントが開催されました。



棚田への認識を深め保全活動につなげようという目的で4年前から開催され、今回で5回目になりました。田植えを終えたばかりの水田を揺らめく炎が照らし、訪れた地元住民や観光客ら約600名が、幻想的な光景に見入っていました。

担当：農村整備課(0558-24-2080)

◇ 6月は森林認証推進月間

「森林認証制度」は森林所有者による伐採・植栽・間伐などのサイクルを繰り返す「森林の循環利用」と、希少動植物の保護など「適正な森林管理」を第三者機関が評価・認証する制度です。認証森林から生産された木材や紙製品には森林管理の証であるマークが付きます。

私たち消費者が森林認証を受けた商品を意識して選ぶことで、地球環境に優しい森林づくりを応援できます。

皆さんも、身近にある森林認証マークが付いた商品を見つけて、選んでみてください。

県では、世界に誇れる森林づくりを目指し、森林認証の普及を推進しています。



担当：森林整備課(0558-24-2082)

賀茂の「食の都づくり仕事人」のお店

旬彩料理くらの坊
 (仕事人: 武藤 誉貢さん)
 【賀茂郡河津町峰490
 TEL:0558-32-2561】

河津町役場との交差点を過ぎて直ぐの看板に従って進むと、峰温泉の湯煙と共に見えてくるのが、今回紹介する「旬彩料理くらの坊」さん。

別荘を改築した古風な佇まいのお店では、地野菜、地魚をふんだんに使った創作和食メニューを堪能できます。どこか懐かしい雰囲気の内店で腕を振るうのは仕事人武藤誉貢(むとうとしつぐ)シェフ。



日本各地はもとより海外でも腕を磨いた武藤シェフは、河津町ほど高いレベルで野菜、魚、水の揃ったところは他にないと絶賛する。なかでも河津の七滝水系の水は全国屈指の水質で、素材のもつ旨みを最大限に引き出してくれるそう。

今回注文したのは、一汁三菜のランチ(3,000円)と、この時期一番人気の天城しゃもの鶏飯(2,500円)。風情あるお皿に盛りつけられた料理は、シンプルだけど調理の丁寧さが伝わってくるものでした。



一汁三菜のランチのメインはスマカツオの燻製風たたき。ワラで軽く燻したカツオは、ポン酢ではなくニンニク醤油で頂くと一層風味が引き立ちます。オカヒジキのお味噌汁は特有の歯触りがアクセントに。

しゃもの鶏飯に添えられた大根おろしは、**地場産わさびとオリーブオイルを和えたもの**。わさびの刺激がほどよく抑えられて、しゃも肉の旨みと絶妙にマッチします。冬場には、黄ゆずのゆず胡椒との相性も楽しめます。



「賀茂の地物の素材の良さは日本一。丁寧な仕事をすればシーズンを問わずお客さんは来てくれる」とおっしゃる武藤シェフ。本当においしい地物を見抜き、その良さを最大限に引き出す「くらの坊」さんでは、あなたのまだ知らない本当の賀茂の魅力に出会えることでしょう。

目指せ!! 世界ジオパーク
「室岩洞(松崎町道部)」



室岩洞は、昭和初期まで活用された伊豆石の切り出し場の跡地です。日中でも薄暗く、ひんやりした洞窟状の内部は、探検気分溢れる遊歩道となっています。一人で入るには少し勇気のいる室岩洞ですが、地域一帯に残る「石の文化」を強く感じられるスポットです。



農薬危害防止運動月間です



6月から8月は農薬の使用が増加する時期です。農薬を適正に使用し、安全・安心な農産物の生産、農薬使用者及び周辺住民の安全、周辺環境の保全を確保していきましょう。

- 有効期限の切れた農薬、無登録農薬を使用しない。
 - ラベルをよく確認し、記載事項を守る。
 - 農薬は安全な場所に施錠して適切に保管管理する。
 - 散布に使用した器具・容器等は十分に洗浄を行う。
 - 農薬使用を帳簿に記帳する。
 - 体調を整え、防護装備を着用して使用する。
 - 周辺の作物及び環境に影響を与えないよう、十分注意して農薬を使用する。
 - 不要になった農薬や器具・容器を洗浄した水などは適切に処分する。
 - 病害虫の発生状況を把握し、適期防除に努める。
 - 総合的病害虫・雑草管理(IPM)を活用した防除に努める。
- 担当: 地域振興課(0558-24-2079)

平成28年度 経営改革講座受講生募集

「新しい農業に挑戦したい!」、「儲かる農業を目指したい!」そんな農業者を対象に、宮口巧マーケティングアドバイザーの指導の下、6次産業化による新たな取組に向けた考え方を学ぶ講座を開催します。

- 講座は、7月から12月まで全7回、無料。
- 申込期限: 7月8日(金)
- 募集人数: 先着5経営体
- 申込先: 企画経営課(0558-24-2076)

回	期 日	内 容
1	7月20日(水)	農業をめぐる環境と6次産業化の現状
2	8月12日(金)	現状分析と商品開発の事業戦略
3	9月21日(水)	経営分析と目標設定
4	10月27日(木)	現地個別指導
5	10月28日(金)	現地個別指導 事業改革案の発表、検討
6	11月15日(火)	個別事業計画作成・発表準備
7	12月1日(木)	成果発表会

申込先: 企画経営課(0558-24-2076)

発行元: 賀茂農林事務所
 〒415-0016 下田市中531-1
 TEL: 0558-24-2074 FAX: 0558-24-2163
 E-mail: kamonou-soumu@pref.shizuoka.lg.jp